第３期山陽小野田市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に係る
事前アンケート及びヒアリング調査

本調査は、第３期山陽小野田市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたって、市内で活動されている福祉関係団体等の皆さまの、活動や地域に関する課題、今後の方向性、福祉施策についてのご意見を把握し、計画策定の基礎資料とさせていただくものです。

また、ヒアリング調査に同意を頂いた場合につきましては、後日、ヒアリング調査を実施させていただきます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和７年　月

山陽小野田市長　藤田　剛二

山陽小野田市社会福祉協議会　会長　西村　公一

## ―ご記入にあたって―

○　それぞれの項目を記入してください。

○　回答は、○○月○○日までに山陽小野田市社会福祉協議会へ送付してください。

◎この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

山陽小野田市社会福祉協議会　地域福祉課

ＴＥＬ：８３－２３４４（担当：森重）

○調査項目（案）

**①貴団体について**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 団体名称 | | | |
| 代表者名 | | 調査票記載者名 | |

**②貴団体の活動の課題について**

問１　貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（複数回答）

| | |
|---|---|
| １．活動のマンネリ化 | ７．他の団体と交流する機会が乏しい |
| ２．新しいメンバーが入らない | ８．活動の場所（拠点）の確保が難しい |
| ３．リーダー（後継者）が育たない | ９．活動資金が足りない |
| ４．市民に情報発信する場や機会が乏しい | １０．その他（具体的に：　　） |
| ５．人々のニーズに合った活動ができていない | １１．特に困ったことはない |
| ６．支援を必要とする人の情報が得にくい | |

| | |
|---|---|
| 設問の意図 | 活動上の課題の把握 |

問１－１　貴団体の抱える課題のなかでも最も重要な課題の解決のためには何が必要だと感じますか。

| |
|---|
| |

問１－２　課題解決のために、どのような機関・団体と連携したいですか。（複数回答）

| | | |
|---|---|---|
| １．市役所 | ８．保育園・幼稚園 | １５．医療機関 |
| ２．市社会福祉協議会 | ９．小学校・中学校・高校 | １６．警察・消防 |
| ３．地区運営協議会 | １０．大学 | １７．弁護士・司法書士 |
| ４．自治会・自治連 | １１．ＮＰＯ・ボランティアグループ | １８．企業・商工会議所 |
| ５．子ども会 | １２．老人クラブ | １９．その他 |
| ６．当事者団体 | １３．　商店街 | （具体的に：　　） |
| ７．民生委員・児童委員 | １４．介護・福祉施設 | |

問２　市民の方が気軽に活動に参加できるように、市民の方が貴団体の活動に単発で参加する事は考えられますか。（単数回答）

| |
|---|
| １．固定メンバーでの活動しか行っていないため、そのような活動は難しい |
| ２．単発で、参加してもらえる活動がある |
| （例えばどのような内容：　　） |

| | |
|---|---|
| 設問の意図 | 各団体の活動に市民が加わることへの参加機会を把握する |

**③地域課題について**

問３　活動を通じて感じる、解決しなければならない地域課題はどのようなものがありますか。（複数回答）

| | |
|---|---|
| １．高齢者のみの世帯の安否確認（老々介護、孤立死） | 10．多問題家族や低所得者への支援 |
| ２．高齢者の生活支援（ゴミ出し、送迎、買い物） | 11．ひきこもりへの支援 |
| ３．ターミナル期への支援（在宅医療、看取り） | 12.がんや生活習慣病等の予防（健康づくり、健診） |
| ４．認知症者や家族に対する地域の理解や支援 | 13.犯罪や非行の防止 |
| ５．障がい者に対する地域の理解、交流の促進 | 14.振り込め詐欺など消費者被害の防止 |
| ６．高齢・障がい・児童などの虐待防止（発見・対応） | 15.災害が発生した際の安否確認や避難誘導 |
| ７．働きながら子育てのできる環境の整備 | 16.耕作放棄地、空き家、商店街の空き店舗 |
| ８．子どもの居場所や子育て支援活動の促進 | 17．その他 |
| ９．母子父子家庭への支援 | （具体的に　　） |

| | |
|---|---|
| 設問の意図 | 活動を通じて感じる、地域課題の把握 |

問４　すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。（複数回答）

| | |
|---|---|
| １．福祉を体験・学習する機会の充実 | ８．多問題家族や低所得者への相談支援の充実 |
| ２．地域住民による支え合い活動の担い手の育成 | ９．地域の人が交流できる場の整備 |
| ３．健康づくりのための環境の整備 | 10．地域交流センター等の地域活動拠点の整備 |
| ４．災害時の支援体制の整備 | 11．相談を丸ごと受け止める相談窓口の整備 |
| ５．バリアフリーやユニバーサルデザインの普及 | 12．その他 |
| ６．福祉サービスの充実 | （具体的に　　） |
| ７．就労の場の確保 | |

| | |
|---|---|
| 設問の意図 | 地域で安心して暮らすために必要なことについて把握する |

**④今後の活動に向けて**

問５　身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、又できそうですか。現在の活動に限定せず、できること、やりたいことをお答えください。（複数回答）

| | |
|---|---|
| 1．高齢者のみの世帯の安否確認（老々介護、孤立死） | 11．ひきこもりへの支援 |
| 2．高齢者の生活支援（ゴミ出し、送迎、買い物） | 12.がんや生活習慣病等の予防活動 |
| 3．ターミナル期への支援（在宅医療、看取り） | 13.犯罪や非行の防止活動 |
| 4．認知症者や家族に対する地域の理解や支援 | 14.振り込め詐欺など消費者被害の防止活動 |
| 5．障がい者に対する地域の理解、交流の促進 | 15.災害が発生した際の安否確認や避難誘導 |
| 6．高齢・障がい・児童などの虐待防止（発見・対応） | 16.耕作放棄地、空き家、商店街の空き店舗の対策 |
| 7．働きながら子育てのできる環境の整備 | 17．その他（具体的な内容をご記入ください） |
| 8．子どもの居場所や子育て支援活動の促進 | |
| 9．母子父子家庭への支援 | |
| 10．多問題家族や低所得者への支援 | |

問６　貴団体が活動をしていく上で、市・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。（複数回答）

| | |
|---|---|
| 1．団体や活動についてのＰＲ | 7．他団体とのネットワーク化 |
| 2．活動上必要な情報の提供 | 8．団体運営上の助言 |
| 3．活動場所の提供 | 9．設備・備品の充実 |
| 4．会員募集の支援 | 10．成果の発表の場の提供 |
| 5．リーダーの養成支援 | 11．その他（具体的に　　） |
| 6．経済的支援（活動資金など） | 12．特にない |

問７　その他、地域福祉をより良くするためのご意見・ご提言などありましたらご記入ください。

| |
|---|
| |

**⑤ヒアリング調査について**

問８　当アンケートの後、社協からのヒアリング調査にご協力いただけますか。

| |
|---|
| 1．する |
| 2．しない |

※ヒアリング調査は、社協の職員が訪問等によって行います。アンケート調査の回答をより深めていくことを目的としています。

**アンケートにご協力いただきありがとうございました。**